

(資料3)「学びのプラン」の実践例 (教材は『盆土産』; 小説・光村図書2年)

きりもみ 学びのプラン №[]

組 子 号 ; 氏名

消書 (単元の終末)

0 単元名・教材名 「ユーモア」と「ベース」という、ものの感じ方から読んでみよう。(盆土産)

時数	取り組んだ日付	活動の内容	身に付けたい力	① 言葉にこだわって考えたり書いたりしたこと ② 刺激と、自分の変容。 ③ その他、友人の変容、今後の課題。	これまでのメモから 取捨選択して 書いてほしい。
1		全文をCDで聴き、内容を知る。	声の持つ魅力について考え、評価すること。		
2		大きな場面分けに気付く。 一の場面について、 ○びたり言い換えに取り組む。 ○書き方の特徴を発表し合う。	場面の展開や登場人物の設定の仕方や互いの関係について描写を基に捉えること。		
3		二の場面について、 ○びたり言い換えに取り組む。 ○書き方の特徴を発表し合う。			
4		「別れの場面」の反復構造に注目し、切なさ(ベース)と微笑ましき(ユーモア)をどこに感じたか、ワークシートにまとめる。	文章の一部であることに注意しながら、登場人物の言動とその意味を想像すること。		
5		自分自身が、この作品に最もユーモア(ベース)を感じたのはどの場面(表現)かを説明する。	文章を読み取ることでも明らかになってきた「ものの感じ方」を、自分の経験とも結びつけながら説明すること。		
6		「言葉の学習であることを忘れず学べたか」「どんな刺激に対しどう変容したか」を振り返る。	毎時のメモを基にして、学びのプランに「学習の振り返り」を消書する。		

① 文末を工夫して書いた。感動した→ジーンとした
悲しいと思った→セリながた
少しでも自分の考えが伝わるように言葉を言い換えた。
② 友だちが自分の体験をもとにユーモアとベースを書いていた所がいいと思った! 体験を本文とてらあゆせて読むことで、より深く登場人物の思いや考えが分かると思ったから。
③ 会話文には気持ちを表している所が多いから、そこに注意して読み取る。

きりもみ 学びのプラン №[]

組 子 号 ; 氏名

消書 (単元の終末)

0 単元名・教材名 「ユーモア」と「ベース」という、ものの感じ方から読んでみよう。(盆土産)

時数	取り組んだ日付	活動の内容	身に付けたい力	① 言葉にこだわって考えたり書いたりしたこと ② 刺激と、自分の変容。 ③ その他、友人の変容、今後の課題。	これまでのメモから 取捨選択して 書いてほしい。
1	9/3	全文をCDで聴き、内容を知る。	声の持つ魅力について考え、評価すること。		
2	9/4	大きな場面分けに気付く。 一の場面について、 ○びたり言い換えに取り組む。 ○書き方の特徴を発表し合う。	場面の展開や登場人物の設定の仕方や互いの関係について描写を基に捉えること。		
3	9/8 9/15	二の場面について、 ○びたり言い換えに取り組む。 ○書き方の特徴を発表し合う。			
4	9/23 9/24	「別れの場面」の反復構造に注目し、切なさ(ベース)と微笑ましき(ユーモア)をどこに感じたか、ワークシートにまとめる。	文章の一部であることに注意しながら、登場人物の言動とその意味を想像すること。		
5	9/28 9/30	自分自身が、この作品に最もユーモア(ベース)を感じたのはどの場面(表現)かを説明する。	文章を読み取ることでも明らかになってきた「ものの感じ方」を、自分の経験とも結びつけながら説明すること。		
6	10/1 10/2	「言葉の学習であることを忘れず学べたか」「どんな刺激に対しどう変容したか」を振り返る。	毎時のメモを基にして、学びのプランに「学習の振り返り」を消書する。		

① 文章から「ベース」を感じる時は、「せつない・はかない」と言う言葉に拘わって書いた。せつない・はかないは、感動する時によく使うので、「ベース」を感じた時はよく使った。
② せつない・はかないは、友達から教えてもらった言葉ですが、せつない・はかないは、自分にと、て意味が分からない言葉だったが、使えらうようになり(意味を知り)、深い言葉だなと思う。
③ 友人は、何も分からない、ていついたか 僕がこうしたら、いいよーとー言いうと、おさめるうちにユスがうまい、内容もよかったです、びっくりした。こうしたらいいよは、19年20年の変化球が入るについて、詳しく教えてあげた。今後は、もと文章からベースやユーモアを感じれるように考えながら、本や文章を読むことで。